

第1回 健康しが共創会議 「新しい暮らし方」を考える ワーキングチーム

令和7年6月4日（水）

滋賀県総合企画部
県民活動生活課
県民活動・協働推進室

～目次～

1. 自己紹介

2. 事務局説明

- ・「新しい暮らし方の提案」とは
- ・ワーキングチームの目的
- ・質疑応答

3. 意見交換

4. 本日のふりかえり

自己紹介

1. 氏名
2. ご所属
3. どちらから来られたか
(どちらから参加されているか)
4. 普段活動されていること

「新しい暮らし方の提案」の背景

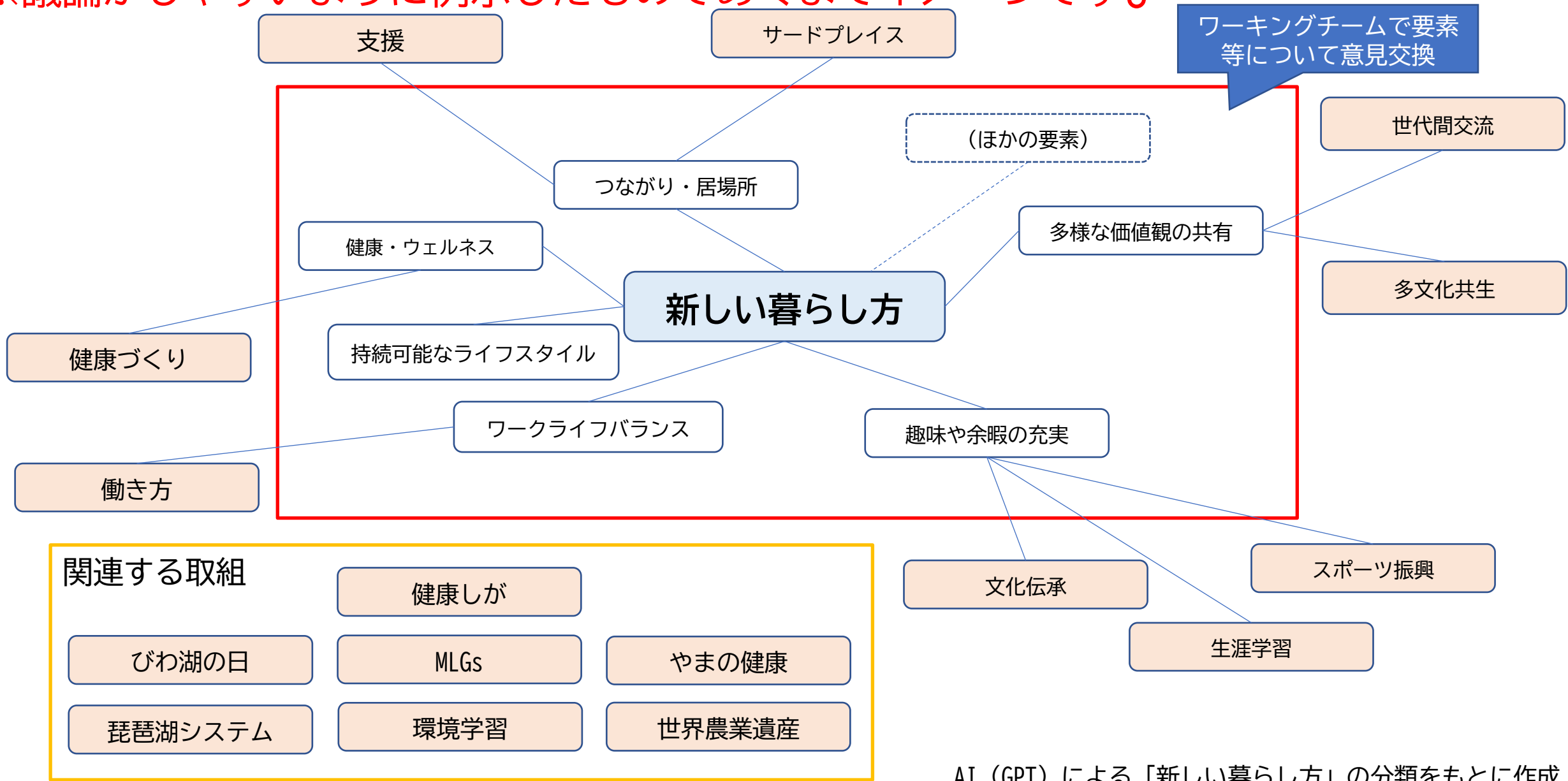
- もともとは、愛知県が先進的に取り組んでいる「休み方改革」が発端。愛知県では、ラーケーション（learning+vacation）や平日や閑散期への観光需要のシフトに取り組まれている。
 - 滋賀県では、「休み方改革」よりももっと広い枠組みで「多様性が最大限尊重された、豊かで自分らしい持続的な暮らし方」を「新しい暮らし方」と捉え、広く社会への提案も含め、皆様と考えてまいりたい。 ⇒ ①
 - さらに、豊かで充実した自分らしい暮らし方を一人ひとりがデザインできる社会の実現のための自由時間のコンテンツとして、こどもの学び、体験の機会を自由時間の使い方の1つとして提案し、広報する。 ⇒ ②
 - 主には、以下の2つの取組を実施。
- ①多くの方々と一緒に「新しい暮らし方」を考えるプラットフォーム
（本ワーキングチームが該当）
- ②NPO法人様が管理されているデジタルマップ上で、県や関係団体が実施する体験イベント（学び、体験の機会）を「しがのこどものなつやすみ」等とカテゴライズした上で、自由時間の使い方の1つとして提案・広報

ワーキングチームの設置にあたって

- ・ 滋賀県での様々な暮らし方を紹介・提案したい。
- ・ 新しい暮らし方は、Well-Beingにつながり、「健康しが」の実現にも資するものであると考えられるため、健康しが共創会議のワーキングチームとして、意見交換させていただきたい。
- ・ なお、県が実施しているMLGs等の取組において、「新しい暮らし方」をされている方が関わっておられることも多いので、県庁の関係所属も参加している。

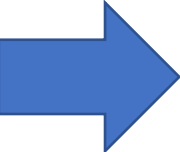
事務局が考える「新しい暮らし方」のイメージ図

※議論がしやすいように例示したものであくまでイメージです。



ワーキングチームの目的

- (1) 多様な暮らし方についての共有【本日、お聞きしたい内容】
- ・参加者皆様の活動や日々の暮らし方、共感する暮らし方、充実した時間を過ごすために大切にしていることや、その実現のためにそれぞれが考える必要な環境・条件（ワークライフバランス、居場所など）の共有
 - ・「新しい暮らし方」に共通する要素（つながり・居場所、多様な価値観、健康・ウェルネスなど）を整理
- (2) 「新しい暮らし方」についての情報発信方法の検討
- ・どのように、多くの方が「新しい暮らし方」を考えるきっかけづくりとなるような情報発信（例：フォーラム、ロゴマーク、カタログ等）を行うか。



県民に対して情報発信を行い、一人でも多くの方の「多様性が最大限尊重された、豊かで自分らしい持続的な暮らし方」実現を目指す。

事前ヒアリングで聞いた「新しい暮らし方」

- ・コロナを機につながり停滞している山間集落地域に対して、学生時代から多世代が交わる居場所づくりなどに関わり、卒業後も引き続き、精力的に活動する暮らし方。
- ・山間地に移住し、「心も身体も環境も持続可能な暮らしの実現」をめざした研究&実践活動を行う暮らし方。
- ・生活のための「稼ぎ」だけでなく、地域における自分の役割「勤め」を行う暮らし方（自分にできることで他の誰かを助けることができ、結果的にそれが地域の持続性につながる。）。

令和7年度の想定スケジュール

	会議名	議論内容（想定）
6月4日	第1回ワーキングチーム	・ワーキングチームの目的の共有 ・参加者が思う好きな過ごし方、その実現のために必要な環境・条件は何か
7月中旬	第2回ワーキングチーム	・新しい暮らし方に係るイメージの共有 ・社会に向けて広めていくための情報発信方法の検討
11月中旬	第3回ワーキングチーム	・情報発信方法の検討
1月下旬	「新しい暮らし方」を考える フォーラム (第4回ワーキングチーム)	・情報発信第1弾（事例紹介等）

各ワーキングチームの間にも、必要に応じて会議を行う可能性があります。
また、令和8年度以降も、引き続きワーキングチームを実施する想定です。

意見交換

皆様の好きな過ごし方を教えてください。
また、それを実現するために必要な環境・
条件は何だと思いますか。

次回の予定

今回皆様にいただいたご意見を踏まえまして、7月中旬に第2回のワーキングチームを開催できればと考えております。